

## みんなの寄付 2020 年秋期募集 申請活動終了報告書

### 《概要》

活動名：『コンサート・配信ストリーミングによる日本歌曲の普及活動』

演奏会：「〈歌人と日本唱歌の調べ〉コンサート」

～薄明と暗闇が生んだ言葉と音楽～

日 時：2020 年 12 月 5 日(土) 13:00 開場 13:30 開演

会 場：光が丘美術館

チケット：一般 3,000 円 / 学生 1,500 円 / ネット配信 1,500 円

コンサート DVD 2,500 円

※ライブ配信および、後日ストリーミング配信予定

目が不自由でも挑戦し続けているパラリンピック選手をゲストに招き‘盲目’を題としたプログラム構成。晩年に目を悪くしながらも数々の名曲を作詞した北原白秋、佐佐木信綱氏が盲目軍人に短歌を教え編集した「戦盲歌」やその歌集に曲を付けた越谷達之助が作曲した歌曲集などについて、佐佐木信綱のひ孫であり歌人の佐佐木頼綱氏が解説とともに演奏する。

### 《目的》

楽譜そのものが手に入りやすく、普段めったに聴く機会のない戦盲歌曲集の歌を聴いてもらいたい。また、古本となっており微小しか残っていない戦盲歌集の再販復刻など、他の歌手とは異なる目線から曲を捉え、日本歌曲を発掘し、世の中に広めたい。

### 《報告および成果》

コンサート当日は天気も優れず、コロナも感染拡大している中でしたが、招待客を含めて 44 名の方にお越し頂きました。通常のコンサートとは異なり解説やゲストとの座談会を加え、音楽だけでなく、そこから世界を広げられるようなプログラムを組みました。

今回は「盲目」をテーマとして取り上げ、パラ選手をゲストにお招きしての座談会、盲目にまつわる短歌の紹介、戦争負傷者の短歌に曲をつけた「戦盲歌」や私の父の歌曲を歌いました。また、「戦盲歌曲集」の作曲家・越谷達之助の記念会を運営しており教え子でもあるテノールの青木純さんに、越谷先生の当時の教えや生前の事を伺い、当日も皆様の前で少しお話しして頂きました。

普段聴くことのない歌曲を組み込んだ珍しいプログラムのためか、会場にいらっしゃった方も DVD を注文してくださり、そのことが何よりもお客様からの「満足した」という声を表しているように感じられました。

また、盲人協会の方や盲導犬協会の方々も興味を示してくださり、盲人による表現の可能性を少しでも伝えられる活動になったのではないかと思います。

《今後の課題について》

今回解説が短歌寄りになってしまったので、次回はもう少し作曲家の方にも視点を広げたいと思います。また、戦争体験者の方より「内容が重かった」という感想を頂き、戦争の時代や障がいテーマとして扱う時には暗くならないよう、明るく楽しい内容もプログラムに取り入れる配慮が必要であることが分かりました。

ただ、障がいをテーマにする事は私としてもとても意義を感じる活動になったので、これからは慈善活動も合わせたようなコンサートを企画したいと考えております。

ネット配信については時間がかかってしまい、コンサート後になかなか宣伝が出来ていないので、これからはもう少し早く取り組めるよう準備したいです。現在、ネット配信よりもDVDのご希望が多いので、今後もDVD制作は続けていこうと思います。

《その他》

今回、美術館でコンサートを開催しましたが、敷地内に古民家レストランもあり、美術品鑑賞やお食事と休日のひとときを楽しんでもらえるような環境なので、選んで良かったと思える施設でした。また、意義のあるコンサートにも出来たと自負しております。助成金を頂いたおかげでこのようなコンサートを開くことが出来、心より感謝申し上げます。